学校番号	３１１

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	子ども文化（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもは、遊びの中からさまざまなことを学び、育っていきます。人が成長するときに大切な要素である遊びを、あなたはどのように準備し、構成し、ともに楽しみながら子どもを育んでいきますか？子どもの遊びや表現活動、児童文化財に関しての知識や技術を習得し、実習を通して学んだことを生かす能力や態度を身につけます。

2　学習の到達目標

子どもと遊び、子どもと表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、児童文化の充実を図る能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの遊びや児童文化財に関心を持ち、その伝承と創造の充実向上を目指して 意欲的に取り組むとともに、子ども達と積極的に関わることができる実践的な態度を身につけているか。	子どもの心身の発達を理解し、それぞれの年齢に応じた児童文化財や活動の選び方や与え方などを具体的に考え、保育実習において活用できるか。	造形・言語・音楽・身体表現活動の技術を身につけ、保育園実習等において積極的に活用できるか。	子どもにとっての遊びの意義や、心身の発達について理解するとともに、それぞれの活動や文化財の特徴や活用方法を学ぶ。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 レポート発表 自己評価 など	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 定期考査 自己評価・相互評価 など	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 課題発表 自己評価・相互評価 など	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 定期考査の結果 など
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子ども文化とは何だろ	○「子ども文化」を学ぶにあたって ○子ども文化を歴史から見る	○ ○	 ○		○ ○	a:子ども時代が発見されたことを知り、現在の子どもの捉え方を比較して関心を持つ。 b:歴史資料から様々な気づきを得て、意見交換をすることができる。 d:子どもの発達にとっての遊びの重要性について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	子どもと遊び	○遊びと発達 ○遊びの現状 ○遊びと遊具・玩具 ○遊びと伝承	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:遊びによって刺激され、発達することに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:遊びと仲間、人間関係の発達について理解し、現在の遊び空間の問題について自分なりの意見を持つ。 c:遊具や玩具の特徴を知り、伝承された遊びについて幼児に伝え、ともに遊ぶ実践的態度を身につけている。 d:遊びの種類、分類について理解し、子どもの発達段階に合わせた適切な遊びを提供するための知識を身についている。	授業観察 ワークシート 定期考査
2学期	子どもと表現活動・子ども文化実習	○子どもの表現活動の面白さ ○造る・描く ○言語表現活動 ○歌う、踊る、演奏する ○子どもと表現活動実習	○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:子どもの表現活動について関心を持ち、造形活動や手遊び、歌遊び等に意欲的に取り組んでいる。 b:子どもの表現活動の特性を知り、発達段階に応じた遊びをプロデュースすることができる。 c:乳幼児の発達を促す表現活動について、子どもの参加を促し、ともに楽しみつつ伝える技術を身につけている。 d:子どもの表現活動について資料や情報収集を通して幅広い知識や新しいアイディアを得ようとしているか。	授業観察 ワークシート 発表 定期考査
	子どもと文学・子ども文化実習	○語り ○紙芝居 ○絵本 ○児童文学 ○子どもと文学実習	○ ○ ○		 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:語りや紙芝居に関する特徴について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 c:紙芝居の制作や絵本の読み聞かせなどを通じて子どもの心に寄り添う活動ができているか。 d:幅広いジャンルの絵本や児童文学について知り、知育・徳育の観点から子どもの成長を育むために必要な知識を身につけているか。	授業観察 ワークシート 作品制作 発表 定期考査

3学期	現代の子どもの生活と文化	○テレビ、キャラクター、ゲーム ○子どもと年中行事	○	○	 ○	○ ○	a:現代の子どもを取り巻く環境や文化について関心をもち、創造的な活動に結びつけるための意欲な取り組みをしている。 b:メディアやデジタルツールの特性について知り、子どもの生活に適切に取り入れたり与えたりするための思考力と判断力を身につけている。 c:日本文化の中で伝えられてきた行事や、近年新しく取り入れられている行事などについて知識を持ち、子どもの生活に取り入れて伝えていく技能を身につけている。 d:子どもが楽しむ行事を計画し、実施するために必要な知識を習得しているか。	授業観察 ワークシート 発表 定期考査
	子ども文化を支える場	○行政による公的な支え方 ○民間企業による支え方 ○子どものための各種施設	○ ○ ○		○ ○ ○	○ ○ ○	a:子ども文化を支え、推進する各種施設の役割について知り、保育者の視点で捉えることができているか。 c:各種施設を子どもに体験させ、発達を促すために、必要な情報を収集し、自らが積極的に関わることができるか。 d:幅広いジャンルの施設について知り、知育・徳育の観点から子どもの成長を育むために必要な知識を身につけているか。	授業観察 ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。